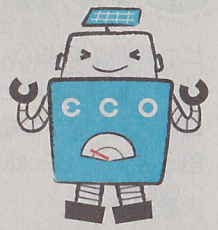
紙の100％リサイクルに取り組む
藤岡北中環境委員のみなさん

温暖化防止へこつこつ



藤岡北中は「北中紙リサイクルプロジェクト」を行っています。温室効果ガス削減を義務付けた「京都議定書」が2005年に発効されたニュースなどがきっかけでした。「地球温暖化防止に、私たちにも何かできることはないか」と考え、校内から出る紙ごみを100％リサイクルする活動を始めました。

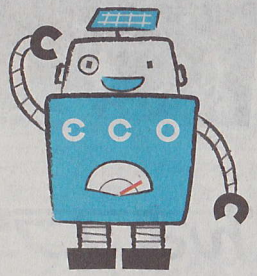
各クラスに回収箱を2つ用意し、大きい紙と小さい紙に分けています。環境委員68人が週1回、全校の紙ごみを集め、屋外にあるコンテナ室に運んでいます。それを業者が2～3週間に1度回収しています。

橋谷桃子副委員長（3年）は「紙の大きさを分けたことで、紙ひもでまとめやすくなり、細かい紙ごみは袋に入れてリサイクルしています」と回収のポイントを話してくれました。

紙ごみをリサイクル

牛乳パックもきれいに洗って回収しています。においや排水対策として、培養した環境浄化微生物「えひめAI－2（あいに）」を活用しています。

「リサイクルで得たお金は、世界の砂漠に木を植える活動に寄付してきましたが、今年は東日本大震災への義援金にしました」と坂田洋大委員長（3年）。今では活動が定着し、「できることをこつこつとやろう」と楽しんでいます。活動の輪が広がり、近くの小学校や北中卒業生が高校でも始めています。



牛乳パックも集めているんだね

エコキャラクター「スパナくん」のエコポット

エコポットをプレゼント

当社は、地域へのさまざまな貢献活動を重視し、「環境美化活動」として、本社や店舗周辺の清掃活動を定期的に行っています。

さらに各店舗では9月30日まで、車を試乗していただいたお客さまに、ゴーヤや朝顔などツル性の植物を育てられる「エコポット」を差し上げています。私たちといっしょに、地球にやさしい省エネ活動を始めてみませんか。くわしくは各店舗までお問い合わせください。

富士スバル株式会社